

KEIO UNIVERSITY
慶應義塾大学



商学部 商学科 梅津光弘研究会

5.16.Fri. at Mita
14:45~18:00
梅津 光弘 准教授



法律だけ守ればいいのか？ 正解がないから議論が深まる
企業倫理について実践的に学ぶ

講義の流れ
醍醐味
前半は3年生を主体に教科書を読んで問題点をあげていく。後半はグループに分かれて4年生がリードしながら実例を用いて考えていく。「企業倫理について理論事例の双方からアプローチし、さらに先生が国内外の実例を解説していく。」
企業の不祥事を防止するため、年々注目度の高まる「企業倫理」。この研究分野において先駆者的存在の先生から学び、正解のない答えについて全員参加型で議論する。洋書を使うので、英語力も自然に身につく。

企業倫理とは何か
実例で考えるからよくわかる

「そもそも法律と倫理の違いは何か？」企業倫理について学生の発表が終ると、さっそく先生から質問がぶつけられた。梅津ゼミには商学部3、4年生の総勢50人が所属する。2コマ続けてのゼミの時間は終始オープンな雰囲気かつ学生と先生の熱い議論で進められていく。企業倫理は、組織と個人が甘い誘惑に負けず自立的に意思決定していくための考え方だ。日本よりも海外での研究が進んでおり、ゼミも英語の文献を読みこみ、学生が要点をまとめたスライドで発表する。法律と倫理の違い、経営者の役割、組織の中での倫理等について学ぶ。
実に奥深いテーマだ。「法的な制約がないと、ビジネスでは倫理的な行動はとらなくてもいい？」と、ダンディな髭の先生は問いかける。法を犯してさえないなければ、企業は利益のために何をしてもいいのか、というところだ。「沈没した船の船長は、利益を守るためにたくさん人や荷物を載せた。何が問題だったの？」と、身近な事例をあげて、それに対して学生



が発言していく。無果汁のジュースを果汁入りと偽り販売した企業の事例では、発売後も赤ちゃん用として売られた社長の判断が問題、と学生が指摘すると、先生はクビにならざるを恐れずに発言できる第三者が取締役にいることの大切さを説明して、さらに議論を深めていく。一方で、産地偽装の話では「八女(やめ)茶がヤマになった」と、オヤジギャグも欠かさない。

最後にアンケートが回収され発表者の話し方や内容の理解度などについて、自分以外の学生から5段階でフィードバックを受ける。意欲的に学ぶには、うってつけの環境だ。

自分ならどうする？
企業が直面する倫理的問題について考える

後半は7つのグループに分かれて、ケーススタディ方式で行われる。進行を担当するのは4年生だ。ケーススタディとは、教科書で学んだ理論が事例ではどのように当てはまるのか、意見を交換していくものだ。講義だけでは身につかない現実社会への応用力を培うための方法だ。
「同性婚を認めるか？」と一瞬どきどきとする質問が出る。先生もグループに加わり、学生たちはそれぞれの意見に頷いたり、反論したりしながら議論を重ねて発表する。
一見、企業経営とは無関係に思えるテーマだが、ゲームソフトでアバター間の同性婚を求める声にきちんと向き合わず、曖昧な態度をとったことで世界中から非難された企業の例がある。実際に同性婚が認められている国の数や、その経済効果が数字で示されていくにつれ、教室の空気が変わる。



「Teachingを講義にしない」
学外プロジェクトを通じて自ら学ぶ

梅津ゼミの活動は学内にとどまらない。3つ目の柱がプロジェクトベースドラニングだ。これは学生が自分でテーマを選び、チームを組んでゼミの時間外に行う体験型の授業である。企業やNGO、公的機関と一緒にテーマに取り組んでいく。その代表例が震災復興プロジェクトだ。昨年は企業と子どもたちに自転車を提供し、避難訓練を行った。このほか三田祭(慶應の学園祭)プロジェクト、アメリカの学会での発表などもある。
「学外に出て、社会の複雑さ、難しさを体験する貴重な機会。想定外のことがたくさん起きる。直面した問題をどうにかして解決しよう」と奔走する

VOICES 学生の声
of University Students



土肥 啄史さん(中央右)
経済学部・経済学科4年
ディスカッションを通じて様々なテーマについて考え、仲間の意見を聞くことで、「こんな考え方もあるんだ」と刺激を受けます。また英語の教科書で学ぶため、英語力がつくことも梅津ゼミの魅力です。

中川 翔太さん(中央左)
商学部・商学科4年
大学の魅力は、1、2年で幅広く学び、手探りできるのが面白く、様々な気づきにつながります。3、4年ではゼミで深く学べ、集大成として卒業論文を書けることです。

浅生 圭祐さん(左)
商学部・商学科3年
先生の魅力は、1冊の本からとんとん話を膨らませてくれて、議論を引き出してくれるところです。また、グループ単位のプロジェクトで仲間とのつながりが深まり、僕もゼミの代表としての役割を果たすことで成長していきたいと思っています。

茂手木 葉菜さん(右)
商学部・商学科3年
企業の社会的責任はさらに重要となるので、この分野を学ぶことは社会的リーダーにとって必要不可欠だと思います。卒業後はゼミで学んだことを自分の強みにして活躍していきたいです。

慶應義塾大学

資料の請求およびお問い合わせ先 〒108-8345 東京都港区三田2-15-45
入学センター TEL (03)5427-1566
URL http://www.admissions.keio.ac.jp/index.html

【沿革・歴史】

文学部	1858年(安政5年) 開塾
経済学部	1868年(慶應4年) 塾を「慶應義塾」と命名
法学部	1871年(明治4年) 三田に移転
商学部	1890年(明治23年) 大学部発定、文学・理財・法律の三科を置く
医学部	1920年(大正9年) 大学令による大学として新発定、文学・経済学・法学・医学の四学部から成る総合大学となり、予科・大学院を付設
理工学部	1944年(昭和19年) 工学部開設
総合政策学部	1949年(昭和24年) 新制大学発定、文学・経済学・法学・工学の四学部が発定
環境情報学部	1951年(昭和26年) 新制大学院(修士課程)開設
看護医療学部	1952年(昭和27年) 新制大学医学部発定
薬学部	1957年(昭和32年) 商学部増設
	1981年(昭和56年) 理工学部の開設
	1988年(昭和63年) 看護短期大学の開設
	1990年(平成2年) 湘南藤沢キャンパスに総合政策学部・環境情報学部を開設
	2001年(平成13年) 看護医療学部の開設
	2008年(平成20年) 学校法人共立薬科大学との合併により薬学部開設
	創立150周年記念式典挙行

【オープンキャンパス情報】

全学部	8月2日(土)・3日(日) *時間未定
事前申込制	問い合わせ:入学センター TEL.03-5427-1566
理工学部	8月20日(水) *時間未定
事前申込制	問い合わせ:理工学部学生課 TEL.045-566-1463
医学部	8月1日(金) *時間未定
事前申込制	問い合わせ:信濃町キャンパス学生課 TEL.03-5363-3662
総合政策学部/環境情報学部	7月30日(水) *時間未定
事前申込制	問い合わせ:湘南藤沢事務室アドミッションズ・オフィス TEL.0466-49-3407
看護医療学部	7月30日(水) *時間未定
事前申込制	問い合わせ:湘南藤沢事務室看護医療学部担当 TEL.0466-49-6200
薬学部	7月26日(土) *時間未定
事前申込制	問い合わせ:芝共立キャンパス学生課 TEL.03-5400-2488

開催時間、申込方法などの詳細は大学ホームページでご確認ください。



うめづ みつひろ
梅津 光弘先生
1980年慶應義塾大学文学部卒業
1986年シカゴコロラ大学哲学専攻修士課程修了
1999年シカゴコロラ大学哲学専攻博士課程卒業 Ph.D.取得
専門領域は企業倫理・経営社会政策論・応用倫理学。現代企業をとりまく様々な倫理的課題事項を理論実践制度の側面およびそれらの相関関係の視点からとらえることに興味を持っている。また日本企業が果たすべき企業社会責任とは何かを明らかにし、それに対する適切な対応政策等も考察したいと考えている。